

発表タイトル	古写本における書写者の心理を読む
発表者所属名	文化科学研究科・日本文学研究専攻
発表者氏名	伊藤 鉄也

発表内容

源氏物語の古写本調査に関する研究報告

- ・「源氏物語」の本文研究は80年も止まったまま
- ・古典籍の書写実態がよくわからない
- ・「源氏物語」の本文では系統論は成り立たない
- ・「源氏物語」は大部であり巻単位で書写されて取り揃えられている
- ・基本的に親本を忠実に書写しようとする傾向が認められる
- ・書写者たちの違いが伝存する本文に関係しているのではないか
- ・書写者の書写意識から本文分別が可能となる
- ・書写時の改丁箇所から書写者の心理を考える
- ・写本は文意を追うことなく書写されているものが多い
- ・しかし言葉の切れ目が改頁に反映している
- ・書写活動には文節と単語の意識が働いている
- ・ただし本の大きさは書写される本文の様態に影響するはず
- ・丁末では書写本文の流れを調整する書写意識が働いていないか
- ・丁末の書写様態と形態から写本を分別する可能性を探求する

(改頁) 箇所	総数	文節	単語	語中	文節%	単語%	語中%
九大古活字版	48	10	20	18	21	42	38
大島本(9行)	54	20	17	17	37	31	31
百柏本	55	24	15	16	44	27	29
前田本	49	24	11	14	49	22	29
国冬本	61	25	19	17	41	31	28
天理河内	84	28	36	20	33	43	24
池田本	63	30	19	14	48	30	22
高松官河内	56	29	15	12	52	27	21
湖月抄	58	31	15	12	53	26	21
藤明本	65	39	13	13	60	20	20
日大三条西	65	31	22	12	48	34	18
尾州河内	55	28	17	10	51	31	18
国文研正徹本	69	32	25	12	46	36	17
大島本(10行)	48	28	12	8	58	25	17
麦生本	45	30	8	7	67	18	16
伏見天皇本	63	39	16	8	62	25	13
書院部三条西	69	34	27	8	49	39	12
京女大正徹本	73	46	19	8	63	26	11
絵入源氏	49	30	14	5	61	29	10
御物本	97	65	22	10	67	23	10
保坂本	64	28	32	6	41	50	9
大正大本	65	42	17	6	65	26	9
首書源氏	60	44	12	4	73	20	7
明融本	69	55	9	5	80	13	7
穂久瀬本	73	56	14	3	77	19	4
阿里莫本	56	42	13	1	75	23	2

